

社会資本総合整備計画														事後評価書		
計画の名称	北長瀬駅周辺における災害に強く賑わいのあるまちづくりの推進															
計画の期間	平成31年度～令和04年度（4年間）											重点配分対象の該当				
交付対象	岡山市															
計画の目標	大目標：総合公園の整備等による災害に強く賑わいのあるまちづくり															
	目標1：誰もが安心して住み続けられるまちづくりを推進する															
	目標2：岡山市西部地区の新拠点として賑わいのあるまちづくりを推進する															
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		5,111	A	5,111	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / （A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	H32末	H34末
1	賑わいのあるまちづくりの拠点として整備する北長瀬未来ふれあい総合公園の利用者数の増加			
	北長瀬未来ふれあい総合公園の年間利用者数	251455人 / 年	251500人 / 年	276600人 / 年
	北長瀬未来ふれあい総合公園をイベントや大会等で利用した人数を把握する			
2	災害に強いまちづくりを推進するため災害用トイレを整備し、避難者の快適な避難生活を確保する			
	避難者のトイレ同時使用率	0%	0%	1%
	（マンホールトイレ50穴＋汚水固化回収式トイレ250穴＋常設トイレ79穴）／想定避難者数37,400人			
3	災害に強く賑わいのあるまちづくりを推進した結果、北長瀬駅周辺地区の人口を維持する			
	北長瀬駅周辺地区の人口	9950人	9950人	9950人
	北長瀬駅周辺地区の人口を住民基本台帳から把握する			
4	賑わい創出と周辺地区の人口維持によるJR北長瀬駅の乗降客数の増加			
	JR北長瀬駅の乗降客数	8364人 / 日	8700人 / 日	9050人 / 日
	JR北長瀬駅の乗降客数を把握する			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	岡山市	直接	岡山市	-	-	都市再生整備計画事業（ 北長瀬駅周辺地区）	地区面積286ha	岡山市						5,111	1.1	-
											小計						5,111		
											合計						5,111		

事 後 評 価

事後評価の実施体制、実施時期	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">事後評価の実施体制</div> 岡山市都市整備局都市・交通部庭園都市推進課において実施した。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">事後評価の実施時期</div> 事業終了後
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">公表の方法</div> 岡山市HPに記載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内に芝生広場やイベント広場などオープンスペースの整備により、大型イベントの誘致も可能となり、北長瀬駅周辺の賑わいの拠点となった。 ・各種防災施設等の整備が完了し、災害発生時に必要な防災機能が確保された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・利用可能となった賑わい拠点を最大限活用し、更なる賑わい創出を図るため、公園管理者と協力し、利用者増加に向けたイベント等を実施する。 ・市、公園管理者、市民、学識経験者等で組織された協議会を活用し、相互に連携・調整しながら公園を効率的・効果的に管理・運営することで、公園の魅力向上と利用者の利便性向上を進める。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	276600人 / 年	新型コロナウイルス感染症拡大の影響や、公園施設の一部が未供用であったり一時使用できない時期があったため。
	最 終 実績値	156672人 / 年	
2			
	最 終 目標値	1%	
	最 終 実績値	1%	
3			
	最 終 目標値	9950人	関連事業のみずほ住座再生事業との相乗効果もあり、予想以上の人口増加があった。
	最 終 実績値	11464人	
4			
	最 終 目標値	9050人 / 日	新型コロナウイルス感染症拡大により、外出自粛等の影響もあり利用者が減少したため。
	最 終 実績値	8994人 / 日	